



2012年8月5日

いま起きつつあること…

…あなたもわたしになる——恐ろしいに共通背番号制

「共通背番号制」＝ 「マイナンバー法」 が施行されます！

今国会では「消費税増税」を政府が通すため躍起になっていますが、この騒ぎに隠れて、「共通背番号制」＝「マイナンバー法」がすでに閣議決定され、消費税増税とセットになつて成立させようとしていることを、「存知でしようか。

この法案については、ほとんど報道されないため周知度が低く、「知らない」と答えた人々が80%を超えるといいます。政府はこの「背番号制」

**すべての人に番号
がつけられ、個人
情報が集められる**

「共通背番号制」は、日本に住む外国人を含めたすべての人々に番号がつけられ、その個人情報を国が管理するというシステムです。ここにいっていることを、「存知でしようか。

たとえばインターネットを利用し、「アマゾン」で本を購入すれば、「あなたはこんな本に興味がある」と想定され、何度も案内がきま

れる権利を得て、私たちは国によって個人情報を管理され、把握されるのです。

国はこの法律を得て、私たちの預金などの資産、病歴などの医療情報、学歴、職歴、行動すべての個人情報を収集、蓄積していく「権利」を得ます。個人情報は、官・民間を行なう多くの機関で共有され

問わず多くの機関で共有され利用されます。個人情報が自分以外のものに把握され、都合よく使われ、国家によって管理されるようになるのが、共通背番号制です。

この法の恐ろしさを多くの人々は知らされていません。私たちは今後、いろいろな場所で共通背番号（マイナンバー）の提示を求められます。アメリカでは、2006年～2008年ベースで、なりすまし犯罪の犠牲者が1

す。購買履歴を利用したネット商法は、いまや常識的に行なわれています。購入履歴の蓄積により、効率よく新刊本などを勧めることができます。

個人の趣味や嗜好といつ

大きな利益につながります。個人の趣味や嗜好といつなども、社会保険料の支出しを抑えるため導入します。そして国は個人情報を手に入れて、個人情報を手に入れることができます。

個人情報の漏えいは、「病歴」「預金残高」などのセンシティブかつ、重要な情報であっても、官民で使用されるため、情報漏えいの危険性が飛躍的に高くなります。

**個人情報の漏えい
の危険性が高まり、
犯罪は増加**

また、集められた個人情報は、「病歴」「預金残高」などのセンシティブかつ、重要な情報であっても、官民で使用されるため、情報漏えいの危険性が飛躍的に高くなります。

個人情報が自分以外のものに把握され、都合よく使われ、国家によって管理されるようになります。

個人情報を利用した犯罪が増加することは確実視されています。

アメリカなどすでに取り入れている国では、個人情報を悪用した「なりすまし」などの犯罪が後を絶たないとい

ます。アメリカでは、200

6年～2008年ベースで、

なりすまし犯罪の犠牲者が1



2012年8月5日

いま起きつつあること…

**神によつて創造された人間の尊厳が
侵される番号制**

一人ひとりに番号をつけて、
国家が管理するという時代が
目の前に来ています。このこ
とは、私たちにとって、また

共通背番号制は、住基ネット
トシステムを使って行なわれ
ます。国立のぞみ教会会員の
関口博前市長は、このよ
うな社会の到来を危険視し、
予見して住基ネットの切断を
8年間続けていました（国立
市は市長交代により2012
年3月接続）。

億170万件に上っていると
いうことが明らかにされ、大
きな問題になっています。共
通背番号システムから流出し
た個人データによって、例え
ば預金から不正に支出され
り、なりすましにより、借金
をされたり、保険証を他人が
勝手に使つたりすることが日
常的に起つっています。

未来の世代にとって、どのよ
うな世の中が到来するのか、
私たちキリスト者は「目を覺
まして」真剣に注意深く考え
なければならぬと思います。

あらゆる個人情報が蓄積さ
れることによって「つくられ
た人格」——たとえば病歴や
職歴、預金残高、嗜好、結婚
歴、行動歴によって判断され
る人間——が私たちそのもの
を現わすのではないにもか
かわらず、その「人格」は一
人歩きをします。個人情報が
国家や企業によって都合よく
利用されるとき、わたしたち
の存在そのものが脅かされる
状況が起きてくると思います。

しかし、私たちは過去も未
来も神によって守られ、日々
新しく創造される者です。国
家に属するものではなく、神
に属するものであり、神に
よつて自由を保障された者で
す。しかし、「個人情報を国家
に渡してしまつ」ということ
は、人間そのものを情報操作
によってコントロールするこ
とができるようになるといつ
ことであり、人間の存在、尊
厳に深くかかわる問題である
と思います。

個人情報は利用の仕方に
よつて、弱者や少数者を容易
に切り捨てることができるよ
うになります。

共通背番号制の施行によつ
て、個人情報は、私たちの手
の届かないところで管理され
ます。誤った情報でも、病歴
など自分にとって都合のよく
ない情報でも、自分で訂正し
たり削除することはできません。

人間が番号をつけられた
「モノ」として扱われる世の
中の到来を、許してはいけな
いと考えます。共通背番号制
は、神が創造された人間に踏
み込んでいく行為であり、「禁
斷の果実」であると考えます。
(神学・社会委員会 関口美樹)

♦ 平和講演会のお知らせ
「あなたもわたしも、ただの 「番号」になる——恐ろし い共通背番号制について 考える」
9月29日（土）午後1時 ～3時30分
場所 高座教会
講師 白石孝氏（『共通番 号制なんていらない！』 著者）／関口博氏（国立 のぞみ教会会員・前國 立市長）